

6.3.31

令和6年3月31日

印西市長 板倉正直様

(住所) 印西市西の原

(団体名) みんなのいっぽ

(代表者名) 伊藤 かおり



業務完了報告書

このことについて、下記のとおり「グリーンカーテンでゼロカーボン事業業務」を完了しましたので報告します。

記

- | | |
|----------|-----------------------|
| 1. 業務委託名 | グリーンカーテンでゼロカーボン事業業務委託 |
| 2. 契約年月日 | 令和5年4月1日 |
| 3. 開始年月日 | 令和5年4月2日 |
| 4. 完了年月日 | 令和6年3月31日 |
| 5. 備考 | |

令和 5 年度 企画提案型協働事業

事業名

グリーンカーテンでゼロカーボン

「CO2を減らそう！ストップ温暖化大作戦！」

事業報告書 (~~案~~)

令和6年3月

みんなのいっぽ

目次

- 1 事業概要・・・P3
- 2 活動結果報告・・・P4
- 3 活動成果報告・・・P10

1 事業概要

本事業の概要について以下に示す。

1.1 事業目的

地球温暖化に対する市民の意識を高める。

1.2 事業期間

令和5年 4月 1日 ～ 令和6年 3月31日

1.3 事業の運営体制

協働事業実施団体：みんなのいっぽ

- イベント実施・普及啓蒙2名（元小学校教員、環境教育団体職員）
 - 苗の育成・参加者の栽培フォロー（農業者）
 - 経理1名 ・事務・SNS等の運営1名
- 【協力団体】みんなのおにわ（森のようちえん）

1.4 事業内容

- グリーンカーテンを使用した地球温暖化防止対策を市民に普及啓発
- ゴーヤなどの種を苗に育成、配布

1.5 定期報告に関する記録

本事業では、毎月末に事業の進捗状況及び実績を、メール等で報告・情報交換した。詳細な報告内容等については、別添1 事業報告書（様式1）、別添2 打合せ記録簿（様式2）にて示す。

2 活動結果報告

本事業では、協働の機会提案の中で、以下6点について実施することを提案した。各提案に関する活動結果について報告する。

<活動内容一覧>

- ①魅力あるグリーンカーテン苗の育成
(ゴーヤ、ホップ、パッションフルーツ、ポップ、バタフライピーなど)
- ②公共機関でのグリーンカーテン設置による市の環境活動 PR
- ③小学校での出前環境授業によるグリーンカーテン普及啓もう
- ④市内事業者との連携イベントによる普及啓もう(商業施設、種苗販売店)
- ⑤SNS・HPを活用したグリーンカーテンのPR、情報提供
- ⑥グリーンカーテンコンテストのオンラインエントリーの拡充による参加促進

2.1 魅力あるグリーンカーテン苗の育成

グリーンカーテンの設置については栽培の難しさが大きな課題となっていたことから、今年度は、苗による配布を積極的に行った。苗づくりについてはメンバーである市内栽培農家が担当し、苗配布後も栽培情報などについても適切な時期に情報を提供しながら、市民によつグリーンカーテンチャレンジを支援した。

本事業では、「パッションフルーツ」「ポップ」「ゴーヤ」の3種類をグリーンカーテンの苗として選定して、普及活動を進めた。それぞれの写真を以下に示す。

図1 各種グリーンカーテン苗

パッションフルーツ	ポップ	ゴーヤ
		

2.2 公共機関でのグリーンカーテン設置による市の環境活動 PR

本項目は、市との協議により公共機関でのグリーンカーテン設置は、施設管理者側の負担も大きく、準備・調整に時間が掛かるという理由から今年度は実施しないこととした。グリーンカーテン設置による市の環境活動 PR の代わりとして、市内各所の公共機関においてグリーンカーテンコンテストの PR 及び種の配布等を行うこととした。また、市の環境活動 PR については、「イオンモール千葉ニュータウン店による市共催イベント（クールシェアイベント）」や「印旛沼ダンボールイカダ CUP」等のイベント時においても実施した。

表 1 種配布施設・配布数一覧

NO	施設名	配布数
1	中央交流館1号館	100袋
2	中央交流館2号館	150袋
3	印西市役所ロビー	150袋
4	印旛支所	50袋
5	本埜支所	50袋

図 2 商業施設（イオンモール千葉ニュータウン店）における環境啓発イベントの様子



2.3 小学校での出前環境授業によるグリーンカーテン普及啓もう

本事業では、グリーンカーテン普及啓もうのため、小学校での出前環境授業を行った。今年度は、印西市立原小学校の協力により、4年生（対象者約 160 名）に対して出張授業を行った。出張授業の内容を以下に示す。

図3 原小学校における授業内容

形式	授業内容	授業の様子
地球温暖化について座学	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化の原因 ・地球温暖化の現状 ・グリーンカーテンの効果 	
地球温暖化に関する体験ワーク	CO2 ワッシュイリレー グリーンカーテンで回収できるCO2の重さを運ぶリレーを体験	
グリーンカーテンのプランターづくり体験	グリーンカーテンの苗として選定した「パッションフルーツ」「ポップ」「ゴーヤ」を学校で育てるため、プランターに苗を植えた。	

2.4 市内事業者との連携イベントによる普及啓もう（商業施設、種苗販売店）

（1）自然体験を通した普及活動および苗の配布

- 自然の中で子どもも大人も共に育つをコンセプトに活動している市民団体「みんなのおにわ」との協力で自然体験を実施。森の中で「気化熱効果」を体感しながら、グリーンカーテン大作戦をPRして苗を配布した。
- 印西の市民団体やキッチンカーが集まり、森の中を楽しむイベント『いんざいポットラック』を実施。森の中で「気化熱効果」を体感しながら、グリーンカーテン大作戦をPRして苗を配布した。

(2) 印西市内の商業施設、公共施設などでの苗の配布

- 地球温暖化についての講座と苗のプランター作り体験会を実施。講座参加者と来場者に苗配布。

図4 商業施設における苗配布イベントの様子

講座の様子	地球温暖化の講座	苗のプランター体験会
		

- コンサート来場者に対して、グリーンカーテン大作戦のアピール&苗配布。

図5 県立公園のイベント時に苗配布を行っている様子

コンサートの様子	苗配布の様子
	

- 夏祭り参加者に、CO2ワッショイチャレンジに参加してもらいつつグリーンカーテン大作戦をアピール&苗配布。


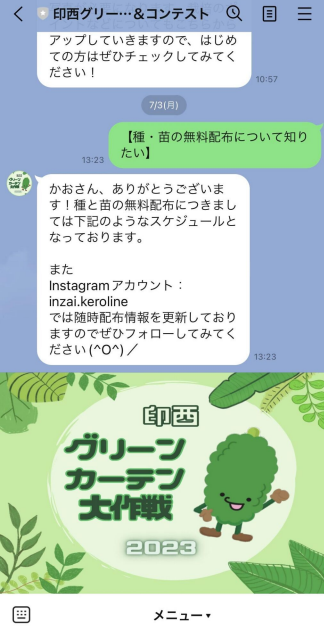
図6 夏祭りにおける環境啓発活動の様子

ママチャリ発電の様子	苗配布の様子
	

2.5 SNS・HPを活用したグリーンカーテンのPR、情報提供

本事業ではSNSを中心としたグリーンカーテンのPR、情報提供を行った。活用したSNSは、「Instagram」「YouTube」「公式LINE」の3種類である。それぞれの情報提供例を以下に示す。

図7 SNSによるPR情報発信例

Instagram	公式LINE
	
YouTube	
	

2.6 グリーンカーテンコンテストのオンラインエントリーの拡充による参加

促進

本事業では公式 LINE を活用し、オンラインエントリーを受け付けることにより、参加者の拡充を促進した。オンラインエントリーの受付画面を以下に示す。

図8 公式 LINE によるオンラインエントリー受付画面



3 活動成果報告

本事業の目的である「地球温暖化に対する市民の意識を高める」という点に対する活動成果を表す項目として、「グリーンカーテンの種・苗の配布による周知」、「SNSによる周知」のふたつから整理することとした。

3.1 グリーンカーテンの種・苗の配布等による周知

グリーンカーテンの普及に向けて、種・苗の配布を行った結果について、活動成果のひとつとして報告する。また、その他、イベントにおける市の環境活動PRについての成果としてチラシ等の配布数を報告する。

表2 種配布施設・配布数一覧

NO	施設名	配布数
1	中央交流館1号館	100袋
2	中央交流館2号館	150袋
3	印西市役所ロビー	150袋
4	印旛支所	50袋
5	本埜支所	50袋

表3 苗配布数一覧

実施日時	配布イベント名	参加者数	配布数	参考：「2 本事業における活動結果報告」における対応項目
4月9日	みんなのおにわ自然体験	35名	54 苗	2.4(1)
5月13日		39名	43 苗	〃
6月7日	原小学校出張授業	—	220苗	2.3
6月10日	地域イベント（いんざいポットラック）	82名	124苗	2.4(1)
6月17日	THE GREENにおける環境教育講座	15名	60苗	2.4(2)
6月25日	千葉県立北総花の丘公園 コンサート	—	120苗	2.4(2)
7月7日	地域の夏祭り（戸神フェスタ）	—	250苗	2.4(2)
随時	SNS からの問合せによる苗配布	—	40 苗	2.5

表4 イベントにおけるチラシ等の配布数一覧

実施日時	配布イベント名	配布物	配布数	参考：「2 本事業における活動結果報告」における対応項目
8月16日	イオンモール千葉ニュータウン店による市共催イベント（クールシェアイベント）	市環境活動に関わる記念品配布数（チャレンジ参加人数）	195（チャレンジ参加人数）	2.2
8月26日	印旛沼ダンボールイカダ CUP	グリーンカーテンチラシ配布	100 枚	2.2

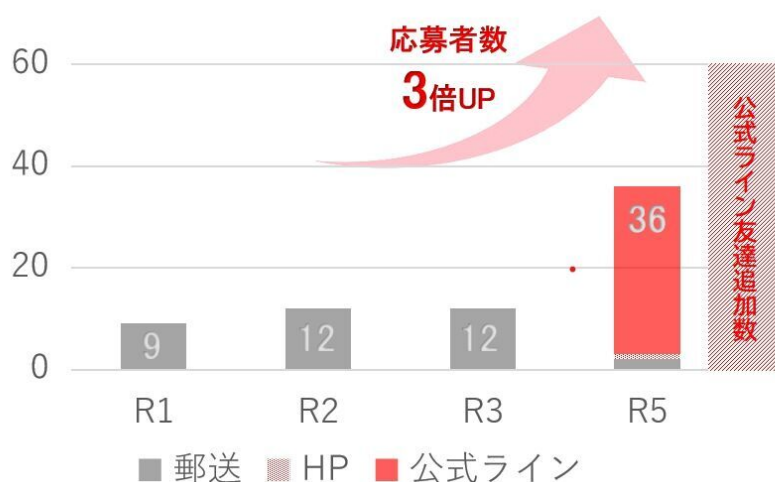
3.2 SNS による周知

本事業において、グリーンカーテンの普及を通じて地球温暖化に対する市民の意識を高めた、という点を評価する方法として、SNS による周知の視点から活動成果を整理した。SNS による周知について「公式 SNS 登録者数」、「コンテスト応募数」の結果を以下に示す。

図 9 公式 SNS 登録者数

公式 LINE	公式 Instagram
登録者数 67 人	フォロワー数 321
	

図 10 グリーンカーテンコンテスト応募者数（過年度数との比較図）



みんなのいっぽ 活動実績

4月～6月 種の配布

- ・中央交流館1号館(100袋)
- ・中央交流館2号館(150袋)
- ・印西市役所ロビー(150袋)
- ・印旛支所(50袋)
- ・本埜支所(50袋)

①気化熱効果を体験できる森での自然体験を通した普及活動および苗の配布

・自然の中で子どもも大人も共に育つをコンセプトに活動している市民団体「みんなのおにわ」との協力で自然体験を実施。森の中で「気化熱効果」を体感しながら、グリーンカーテン大作戦をPRして苗を配布した。

みんなのおにわ

4月9日

参加者 35名

苗配布

パッションフルーツ 3苗

ホップ 3苗

ゴーヤ 48苗

5月13日

参加者 39名

苗配布

パッションフルーツ 2苗

ホップ 3苗

ゴーヤ 38苗

6月10日

いんざいポットラック

印西の市民団体やキッチンカーが集まり、森の中を楽しむイベントを実施。森の中で「気化熱効果」を体感しながら、グリーンカーテン大作戦をPRして苗を配布した。

参加者 82名

苗配布 124苗

②印西市内の商業施設、公共施設などでの苗の配布

THE GREEN

6月17日

地球温暖化についての講座と苗のプランター作り体験会を実施。講座参加者と来場者に苗配布。

参加者 15人

苗配布 60苗

花の丘公園

6月25日

コンサート来場者に対して、グリーンカーテン大作戦のアピール&苗配布。

苗配布 120苗

戸神フェスタ

7月7日

夏祭り参加者に、CO2ワッショイチャレンジに参加してもらいつつグリーンカーテン大作戦をアピール&苗配布。

150苗

③小学校における環境教育を兼ねたグリーンカーテンの PR

6月7日

苗配布

220苗

④SNS からの問い合わせによる苗配布

40苗



協働の機会提案書(新規提案用)

令和4年 9月26日

印西市長 板倉正直様

(登録者) 登録番号 〇4 - 〇〇7

名称 みんなのいっぽ

所在地 印西市西の原

代表者職氏名 伊藤 かおり

連絡先

企画提案型協働事業を、下記のとおり提案します。

提案事業名	グリーンカーテンでゼロカーボン 「CO2を減らそう！ストップ温暖化大作戦！」
現状・課題 (指定テーマ型の場合 はテーマ名のみ記入)	グリーンカーテンでゼロカーボン 「CO2を減らそう！ストップ温暖化大作戦！」
提案理由	<p>2050年カーボンニュートラルに向けた世界的な動きの中、印西市では第三次印西市環境基本計画が作成され「CO2を減らそう！ストップ温暖化大作戦」が重点的な取り組みとして選出された。エコライフの普及・促進による省エネルギーの推進の具体的な施策として家庭や事業所でのグリーンカーテンの設置の促進が挙げられているが、これまで市内公共機関での設置は進んだものの、市民や事業者による設置は見られず、市のグリーンカーテンコンテストへの参加者数も限られている。</p> <p>印西市環境白書によれば印西市民の79.6%が環境問題に関心があると答える一方で「どのような取り組みをすればいいのかわからない」という声が40%に上り、「環境事業を行っていることを知らない」と答えた市民は41%に上っている。つまり市民へのグリーンカーテンの普及啓蒙、活動への参加促進に多くの市民が省エネ対策として取り組む可能性が十分にあると言える。</p> <p>各所でのグリーンカーテンの設置自体は具体的なCO2削減量を数値化できるものではないとしても、夏場の省エネ・節電効果は広く周知されており、グリーンカーテン設置により市や市民の環境意識が一般に見える化することができるのがグリーンカーテンの重要なメリットである。つまりグリーンカーテンは街ぐるみの省エネ・温暖化対策の旗印として機能することが期待で</p>

	<p>き、より多く設置されることで、設置した市民は実際に効果を実感し、参加していない市民も街の環境意識の高まりを認識し、ひいては市民ひとりひとりのエコライフへの意識の啓発・自分にできる自発的な取り組み（みんなのいっば）を促していくことができる。</p> <p>ただグリーンカーテンの設置については栽培の難しさが大きな課題となっている。先のアンケートでは実に32%の市民が「環境事業に取り組む時間がない」と答えている中で特に子育て・現役世代が4月の種まきから9月の片付けまでを行うことは相当な障壁となることが予想される。</p> <p>グリーンカーテンの苗からの配布や、わかりやすく丁寧な栽培情報をSNSで発信することにより野菜栽培の経験のない市民にとってもチャレンジしやすくする工夫、あるいはイベントや出張講座を通して環境意識があまり高くない市民にとってもグリーンカーテンの設置が楽しく魅力的に感じてもらえる機会をつくるのが、グリーンカーテン普及のカギとなると考えられる。</p> <p>このような点を勘案し、街ぐるみの省エネ活動の旗印として、グリーンカーテンの普及方法を提案する。</p>
<p>提案内容 (予算の概算も記入)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンカーテン苗の育成(ゴーヤ、へちま、ひょうたん、ホップ、バタフライピー) ・イベント、出張講座、SNSを活用し市民へグリーンカーテン栽培情報を提供 ・グリーンカーテンコンテストの応募をより参加しやすいカタチで実施(公式ライン等)
<p>貴団体の特性、協働 で実施するメリット (提案者が事業実施できる能力や有利なアピールポイント)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・苗づくりから普及啓蒙まで、実務経験のある担当者が責任をもって実施可能(育苗は市内の現役農家が担当、学校やイベントでのグリーンカーテン普及については元小学校教師が担当) ・グリーンカーテンの苗の配布時期である4~7月の間、青空教室や環境問題について考える自然体験を開催してのべ100人以上(2022年実績)が参加しており、グリーンカーテンの普及・啓蒙の場として活用できる。 ・イベントや情報発信(SNS等)において活動を楽しみやすいものに見せることが当団体の強みであり、環境問題に関心の無い人もグリーンカーテンやコンテストに魅力を感じて参加を促進することができる。
<p>事業実施により 得られる効果 (自由提案型は今後の展望も記入)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・苗の配布により誰もがチャレンジしやすい取り組みとしてグリーンカーテンの設置を促進できる。 ・自然体験イベントやSNSでの発信により、子育て世代や若い市民に対する普及啓蒙を進めることができる。 ・グリーンカーテンコンテストへの応募を公式ライン等で容易にすることで参加者を増やす。 ・グリーンカーテン設置やコンテストの参加が進むことで、街ぐるみの省エネ対策の進展を市民が実感し、市民の自主的な取り組みとして

	継続していくモチベーションにつながる。
--	---------------------

(提案書 様式②)

協働事業計画書			
事業名	グリーンカーテンでゼロカーボン 「CO2を減らそう！ストップ温暖化大作戦！」		
事業の目的	地球温暖化に対する市民の意識を高める。		
市の施策上の位置 付け及び協働部署	(施策名) 自然との共生の実現 (部署名) 環境経済部 環境保全課		
事業期間	令和5年 4月 1日 ～ 令和6年 3月31日		
事業の内容 <small>詳細に役割分担別に記入 (役割分担を、できれば事 前に市の担当に相談して 記すか、希望を記す)</small>	提案者	市	
	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンカーテンのゴーヤなどの苗の育成及び種の市民・事業者への配布 ・チラシ・SNS・イベント等によるグリーンカーテン・省エネ対策の普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・種や苗の公共施設への配布 ・広報いんざい及びホームページなどによる普及啓発 ・出前講座、イベント等の事業の運営補助 ・出前講座、イベント等で公共施設・学校を使用する際の連絡調整及び会場確保 	
事業に要する経費 <small>※詳細については、様式③による</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴーヤ等の種の育苗に係る経費 ・市民および事業所への普及・啓蒙および種と苗の配布に係る経費 ・SNSやオンラインを活かしたグリーンカーテンコンテストの告知・応募に係る経費 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共機関におけるグリーンカーテン設置のための栽培用培土、栽培ネット等消耗品費 ・グリーンカーテンコンテスト参加賞及び入賞者用記念品費 	
事業の運営体制 <small>(事業関係者、協力者、有資格者など)</small>	みんなのいっぽ <ul style="list-style-type: none"> ・イベント実施・普及啓蒙2名（元小学校教員、環境教育団体職員） ・苗の育成・参加者の栽培フォロー（農業者） ・経理1名 ・事務・SNS等の運営1名 【協力団体】みんなのおにわ（森のようちえん）		
協働のメリット <small>(各立場にとっての効果を簡潔に)</small>	提案者	市民	市
	これまで活動してきた経験を生かして、地域に貢献し地域内のネットワークを広げる。潜在的な参加者を発掘する。	省エネルギーの推進。苗の配布や啓蒙活動により栽培経験がなくても、手軽に、楽しく環境により暮らしを実現できる。環境により街づくりに貢献できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・公共機関、教育機関における省エネルギー及び脱炭素化の推進ができる。 ・環境学習の場と機会を

			<p>創出できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の主体性を引き出すことができる。 ・職員の業務の効率化を図ることができる。
<p>対話方法</p> <p>市との協議や打ち合わせ方法</p>	毎月末に事業の進捗状況及び実績を、メール等で報告・情報交換する。		
<p>事業の周知や評価の方法</p> <p>(具体的な目標値など)</p>	<p>【周知方法】公共施設、学校等へのチラシの配布、SNS の配信、広報いんざい、市ホームページへの掲載等。</p> <p>【普及の評価方法】SNS でのグリーンカーテン発信数（ハッシュタグ）、公式ライン登録者数、コンテスト応募予定数 100 件（R 3 の約 10 倍）</p>		
<p>備 考</p>	関係団体等		
	その他（添付書類等）		

(提案書 様式③)

企画提案型協働事業経費内訳書

総事業費（無償分を含む） 金 1,172,635 円

市から団体への委託費 （金 953,292 円）

【歳入】

項 目	積算根拠（内容・数量・単価など）	見積り金額(円)
市に負担を求める額		953,292
その他収入		
提案者負担分		
無償労働力等換算金額	労働力 168,264 円 機材費 51,079 円	(219,343)
合 計（無償分を含めない）		953,292 円
無償分を含めた合計額		(1,172,635)

【歳出】 ※GC=グリーンカーテン

項 目	積算根拠（内容・数量・単価など）	見積り金額(円)
種代	ミニゴーヤ1500粒95,700円(送料800円)ひょうたん、 へちま、バタフライピー等合計700粒53,760円(送料 1600円)、パッションフルーツ苗3個×5500円、ホップ 苗各10個×600円=22,500	174,360
育苗	1200苗×150円(1苗当たりの培土、管理費)	180,000
配布用種	種用の小袋1000枚53,060円×ラベルシール印刷 1000枚(1枚1.8円)	54,860
種袋詰め	種袋詰め・ラベルはり作業984円/h×2名×10h	19,680
市への配布	苗の準備・運搬設置 984円/h×2名×10h + ガソリン代5000円	24,680
PR用品	苗用耐水ラベル500枚×30円/枚=15,000 GCチャレンジ・コンテスト募集チラシ 1000枚×30円/枚(両面カラー)=30,000円	45,000
PR・啓蒙普及 情報提供	質問対応・栽培情報・コンテスト情報発信 (Instagram画像編集、投稿作成、6か月運用) 984円/h×1名×6h×7か月=41,328円 初心者向け取り付け・栽培・片付け方法情報発信	120,040

	(youtube 動画4本収録編集) 984 円/h×2 名×10h/1 本×4本=78,720 円	
GCコンテスト募集・開催	公式ライン運用 7 カ月システム料 15000 円/月×7 カ月=105,000 円 システム構築・運用・募集・集計 984 円×1 名×14h/1 か月×8 カ月間=110,208 円	215,208
市民配布	教育機関・市民イベントでの出前講座 3 回 984 円/h×2 名×6h×3 回 =35,424 円 備品購入・資料作成 5000 円×3回=15,000 円	50,424
市民配布	夏休み自由研究サポート・農園イベントでのチラシ・ 種・苗配布および育て方ガイダンス各2h×6 回 984 円/h×2 名×12h=23,616 説明資料作成・備品購入 10,000 円	33,616
民間事業者配布	市内民間施設・飲食店等での設置モニター募集、種・ 苗・チラシの店頭設置及び普及・啓蒙活動協力依頼 984 円/h×2 名×6h×3日	35,424
提案者が負担する 無償労働力	全体の配布プラン作成・講座内容作成 984 円×2 名×3 日×6h=35,424 集合住宅等でのチラシ設置場所確保・設置依頼 984 円×3名×2日×6h=35,424 GC問い合わせ対応・参加者アンケート等作成 984 円×1 名×5h×7 カ月 =34440 チラシデザイン・苗タグデザイン打ち合わせ+作成 984 円×2名×8h×4日 =62,976	(168,264 円)
提案者が負担する 無償機材等	苗運搬用軽トラ 5日×5500 円/1 日 =27,500 円 撮影用カメラ画像編集ソフト等 7 日×2000 円/1 日 = 14000 動画編集ソフト使用料 9,579 円	(51,079 円)
合 計 (無償分を含めない)		953,292 円
無償分を含めた合計額		(1,172,635 円)

(提案書 様式④)

年間事業スケジュール

実施予定日	活 動 内 容	参加人数
4 月	イベント等での種の配布	公共機関 苗 700 個配布 一般市民 苗 500 個配布 種 1000 袋配布
5 月	SNS 等でのグリーンカーテンの効果・魅力発信 公共機関への種、苗配布 GWイベント等での種、苗配布	
6 月	SNS 配信 種の育て方 苗の設置の仕方の発信 環境フェスタでの苗の配布	
7 月	SNS 配信 各植物の管理方法を適宜配信	
8 月	夏休みイベント・自由研究サポートでの苗配布	
9 月	SNS 配信 片付け方の配信 グリーンカーテンコンテスト応募者募集 グリーンカーテンコンテスト集計	コンテスト参加 予定者 100 名
10 月	グリーンカーテンコンテスト結果発表・発信	
11 月	総括	